

# 霧島山の火山活動 —1999年10月～2000年1月—

Volcanic Activity of Kirishima Volcano  
—October 1999 - January 2000—

鹿児島地方気象台

Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

## 1. 活動概要

霧島山では今期間、新燃岳を震源とする火山性地震が多発し、その後火山性微動も発生したが、表面現象には特に変化なく経過した。また、12月初めから御鉢を震源とする地震が増えている。

第1図に1999年7月1日から2000年1月28日までのA点日別地震回数を示す。新燃岳を震源とする地震は11月6日から増え、10日の192回をピークに減少したが、その後も地震増加前よりは多い状態で推移した。第2図に1970年1月～1999年12月までの月別地震回数を示す。新燃岳を震源とする地震が多発したのは1995年8月以来である。また、12月16日には微動が2回発生し、そのなかで地震が多発した。微動の継続時間の合計は32分間で、地震回数は約70回であった。微動はその後12月中に20数回、1月に入り1回発生した。継続時間はそれぞれ1～2分間であった。第3図に1965年～2000年1月の微動の発生状況を振幅の時系列で示す。微動の発生は1995年4月以来であり、今回の最大振幅2.5マイクロメートルと同程度の微動が発生したのは1991年11月以来である。

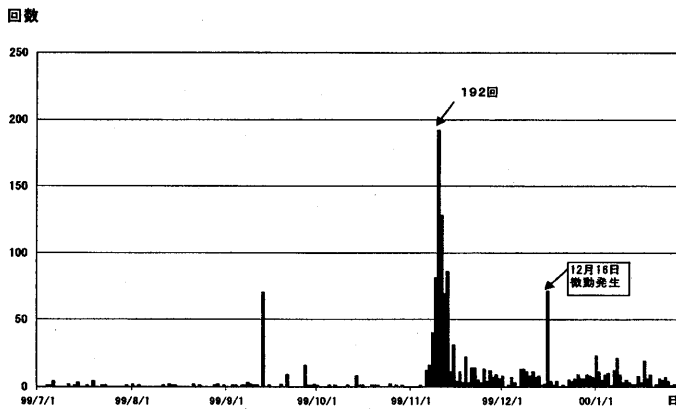
一方、東京大学地震研究所霧島火山観測所によると、1999年12月初めから御鉢が震源と推定される地震が増加した。第4図に1999年9月～2000年1月までの日別地震回数を示す。今回の活動レベルは、日回数が100回を越える日もあった1977～1978年以来である。

鹿児島地方気象台は、11月13日と12月17日に鹿児島県の協力を得て防災ヘリコプターにより上空から新燃岳の火口観測を行ったが、噴気の量や高さに変化はなく、火口湖にも変化は見られなかった。また、11月11日に霧島山山麓、11月25日に新燃岳山頂、26日に高千穂峰・御鉢の山頂の現地観測を行ったが、噴気活動等に変化はなかった。

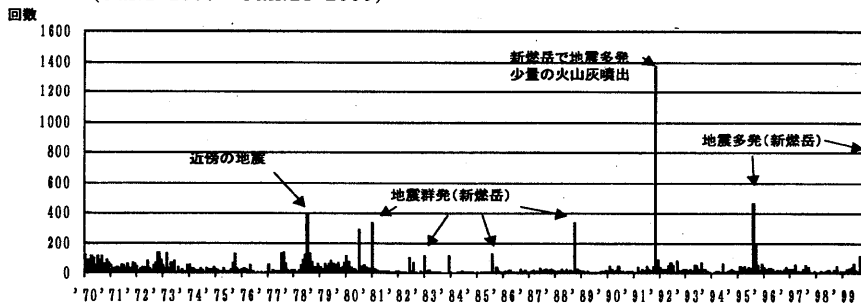
## 2. 火山情報の発表経過

本期間（1999年10月～2000年1月）、鹿児島地方気象台が発表した火山情報は以下のとおりである。

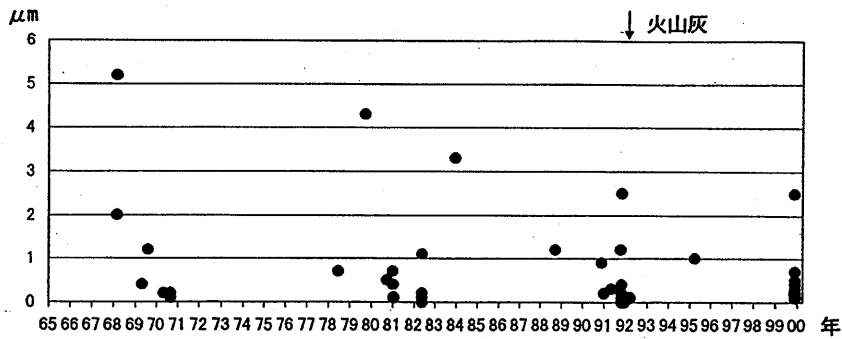
- ・臨時火山情報 第1号 1999年11月10日
- 第2号 1999年12月16日
- ・火山観測情報 第1号 1999年11月11日～第22号 12月28日
- 第2号 2000年1月4日～第4号 1月25日



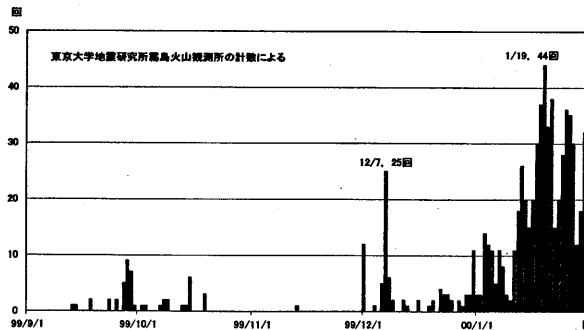
第1図 霧島山 (A点) の日別地震回数 (1999年7月1日~2000年1月28日)  
 Fig. 1 Daily frequency of volcanic earthquakes at Kirishimayama volcano. (Jul.1 1999-Jan.28 2000)



第2図 霧島山 (A点) の月別地震回数 (1970年1月~1999年12月)  
 Fig. 2 Monthly frequency of volcanic earthquakes at Kirishimayama volcano. (Jan. 1970-Dec. 1999)



第3図 霧島山の火山性微動の発生状況 (1965年1月~2000年1月28日)  
 Fig. 3 Volcanic tremor around Kirishimayama volcano. (Jan. 1965-Jan. 2000)



第4図 霧島山・御鉢付近の日別地震回数 (1999年9月~2000年1月31日)  
 Fig. 4 Daily frequency of volcanic earthquakes at Ohachi. (Sep. 1 1999-Jan. 31 2000)